# 法の支配と立憲主義

第 4 時　50 分　参照 p.11〜12　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

出版する市民：批判できなくなる影響を挙げる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

政府：誤情報への対応という目的を説明する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

議員：多数決の意義と限界を点検する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

裁判所の視点：権限と人権保障の関係を確かめる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

法律は虚偽の情報だけでなく、正確な政策批判にも適用される。処罰理由は説明されず、裁判所への申立ても認めないとしている。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 日本国憲法の成立と個人の尊重

第 5 時　50 分　参照 p.13〜15　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

市民：少数者になった場合を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

議員：法律をつくる権限の限界を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

行政担当：国の役割を整理する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

点検役：二つの案の保障条件を比べる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

案 A では、病気で働けない人と政府に反対した人を「役立たない」と判定できる。判定基準は政府が後から変更できる。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 自由権の成立と精神的自由

第 6 時　50 分　参照 p.15〜17　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

講演者：内心を表明させられる影響を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

施設管理者：安全に運営する条件を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

参加者：異なる意見を聞く意味を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

点検役：内心と行為を分けて整理する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

講演者は施設の安全上の約束には従うとしている。施設側が問題にしているのは危険な行為ではなく、市の政策への批判そのものだった。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 人身の自由と適正な刑事手続

第 7 時　50 分　参照 p.17〜18　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

捜査の視点：追加で確かめる証拠を挙げる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

弁護の視点：不当な推測を点検する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

裁判の視点：証拠から言える範囲を限定する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

市民の視点：自分が疑われた場合も考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

別の映像では現場近くに似た服装の人が複数いる。X が答えなかった理由も、まだ確認されていない。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 経済的自由と財産権

第 8 時　50 分　参照 p.18〜19　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

安全担当：危険を見落とさない条件を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

営業担当：休業や準備の負担を比べる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

運用担当：限られた検査回数の配分を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

点検担当：効果を判断するため不足する情報を挙げる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

試行では A は幅広く点検できたが、毎回の準備で営業負担が増えた。B は重点店へ早く対応できたが、自己申告だけでは危険を見落とした。事故減少の効果はまだ不明。無作為検査を一部加える案も出た。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 法の下の平等と合理的配慮

第 9 時　50 分　参照 p.19〜20　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

本人の視点：参加しづらさを想像で決めず、確認したい希望を挙げる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

運営担当：予算と席数を確認し、費用だけで結論を決めない。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

参加者の視点：移動やオンライン参加で生じる別の障壁を探す。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

比較担当：二案の利点と課題を並べ、追加の調整案を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

本人は対面を希望する。オンライン参加を希望する人は 8 人だが、案 A では残る 22 人に 20 席しかない。案 B の移動には、道案内を付けてほしいという声がある。日時変更の可否は未確認。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 多様性と共生社会

第 10 時　50 分　参照 p.21〜22　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

初参加者：分かりにくい情報を挙げる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

運営者：必要な仕事と条件を説明する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

案内を作る人：伝達方法を比較する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

点検役：属性と能力の決め付けを探す。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

力仕事が得意でない男性や、運搬を希望する女性がいる。日本語を読むのに時間がかかる参加希望者は、短い文と図があれば理解できる。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 参政権と権利を救済するしくみ

第 11 時　50 分　参照 p.22〜23　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

A の相談担当：政策への要望の伝え方を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

B の相談担当：救済の目的を整理する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

C の相談担当：意思決定への参加方法を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

点検役：権利と手続の取り違えを探す。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

B は処分の取り消しと損害の賠償の両方を求めている。A は「請願を出したら、必ず希望どおりの政策になる」と考えていた。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 社会権と人間らしい生活

第 12 時　50 分　参照 p.24〜25　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

教材担当：学習道具を使える条件を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

移動担当：交通費や距離の壁を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

時間担当：開室時間と生活時間を比べる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

点検担当：支援が届かない人と追加調査を挙げる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

匿名調査で端末がない人 6 人、交通費が難しい人 8 人、夜間しか来られない人 12 人が分かった。同じ人が複数に含まれるが重複人数は不明。利用希望は任意回答で、未回答者の事情も不明である。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 新しい人権と情報の公開

第 13 時　50 分　参照 p.26〜27　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

計画を調べる市民：説明会までに何を知りたいか整理する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

相談者の視点：名前以外に、個人の特定につながる情報を探す。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

文書担当：先に出せる部分と、確認が必要な部分を分ける。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

比較担当：早さと情報の十分さを比べ、組合せ案を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

相談記録には、予測資料にない夜間の騒音の訴えがある。氏名を消しても、詳しい住所や病歴から個人を特定できるおそれがある。論点ごとの要約なら 5 日後に公開できるが、要約の正確さの確認が必要。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 個人情報と自己決定

第 14 時　50 分　参照 p.28〜29　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

学習支援担当：個別の助言に必要な情報を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

本人担当：選択と撤回の方法を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

管理担当：保存期間と閲覧者を点検する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

点検担当：不要な収集や別の目的への利用を点検する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

A にはつまずきに応じた助言を望む声と、履歴を残したくない声がある。B も少人数の集計では個人を推測できるおそれがある。提供会社から広告への二次利用を求められたが、当初の説明にはない。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 権利と義務と公共の福祉

第 15 時　50 分　参照 p.30〜31　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

主催者：集会の自由の利益を説明する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

近隣住民：具体的な心配を整理する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

管理者：実施できる安全策を挙げる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

点検役：抽象的な不安と事実を分ける。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

暴力の予告や具体的な危険は確認されていない。音量と終了時刻を定め、出入口を整理することは可能だと分かった。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 民主政治と議院内閣制

第 16 時　50 分　参照 p.32〜33　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

与党議員：政策実行の責任を説明する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

野党議員：質問と対案を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

市民：知りたい情報を挙げる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

点検役：全国民の代表という視点を確認する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

選挙後に大規模な災害が起こり、従来の政策の優先順位を変える必要が出た。選挙時には分からなかった被害も報告されている。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 世界の政治体制と権力の分け方

第 17 時　50 分　参照 p.34〜36　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

選挙の視点：選択肢と責任の所在を確認する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

権利の視点：批判や反対意見の扱いを見る。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

地域の視点：中央と地域の権限を整理する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

点検役：異なる分類軸の混同を探す。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

A では大統領の支持党と議会多数派が異なり、法案が成立しないことがある。C では地域で政策を変えられるが、調整に時間がかかる。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 国会の組織と審議

第 18 時　50 分　参照 p.37〜38　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

利用者担当：対象から外れそうな人の視点を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

迅速対応担当：支援開始が遅れる影響を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

調査担当：現地で確認すべき条件を挙げる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

点検担当：オンラインに参加しにくい人の意見の集め方を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

一律の距離基準では、安全な経路がない生徒が対象から外れるおそれがある。通信環境が弱い地域もある。地図と電話で一部は確認できるが、危険箇所の現地状況はまだ確認されていない。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 法律の成立と衆議院の優越

第 19 時　50 分　参照 p.38〜39　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

人数確認役：出席者と賛成者を区別する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

手続確認役：法律案か予算かを確かめる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

調整役：両院の相違点を整理する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

点検役：憲法改正の発議との違いを問う。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

別の仮定として、同じ内容の法律案への賛成が 300 人、出席が 450 人ならどうか。二つは別々の計算例で、修正案を再採決した場面ではない。さらに「同じ人数条件で憲法改正も発議できる」という説明を点検する。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 内閣のしくみと国会への責任

第 20 時　50 分　参照 p.40〜41　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

内閣側：提案と実施の権限を整理する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

衆議院側：監督と議決の役割を確認する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

市民の視点：説明してほしい事項を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

点検役：期限と手続の分岐を確かめる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

不信任案可決から 10 日が経過しても衆議院は解散されていない。ある大臣は「首相だけ辞めれば内閣はそのままでよい」と述べた。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 行政の拡大と民主的な統制

第 21 時　50 分　参照 p.42　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

専門職：基準の目的と根拠を示す。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

利用者：理解しにくい条件を挙げる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

意見募集担当：具体的な意見の聞き方を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

点検役：利益相反や情報不足を探す。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

意見募集で、人数は少ないが重大な利用上の障壁を指摘する意見が届いた。他方、同じ文面の賛成意見が大量に届いている。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 司法権の独立と紛争解決

第 22 時　50 分　参照 p.43〜44　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

買い手の視点：求める解決を整理する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

売り手の視点：争う事実を整理する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

第三者の視点：手続の特徴を説明する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

点検役：合意と強制の違いを確認する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

当事者は第三者の助けを借りた話合いを希望しているが、第三者が最終判断を下す仲裁に従う合意まではしていない。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 刑事裁判と刑罰

第 23 時　50 分　参照 p.45〜46　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

証拠点検：映像から分かる範囲を示す。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

手続点検：無罪推定の意味を説明する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

支援点検：被害者の安全と相談を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

再発予防：処罰以外の予防策を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

同じ服は広く販売されていた。被害者は、犯人の特定とは別に、通学路の安全確保と相談窓口の案内を求めている。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 司法への国民参加と違憲審査

第 24 時　50 分　参照 p.46〜47　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

人数点検：評決の条件を説明する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

参加点検：検察審査会との違いを示す。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

憲法点検：審査を行う裁判所を確認する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

読者役：誤解しやすい表現を指摘する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

紹介先の読者は「多数決なら専門家の意見は不要」「違憲判断が少ないなら違憲審査権自体がない」と受け取った。説明に誤解を防ぐ条件を加える。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 探究 政治制度を比較する

第 25 時　50 分　参照 p.48　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

実行力担当：法案を通すために誰の協力が必要か考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

統制担当：議会が行政を点検できる手段を比べる。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

参加担当：少数派の意見が審議に届く方法を考える。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

条件担当：議席の分布が変わると何が変わるか点検する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

支持政党が 45 議席になった場合も比べる。案 A では他党との連立や協力で議会の信任を得る道がある。案 B では大統領の任期は続くが、法案成立に他党との調整が必要になる。どちらも協力が得られるとは限らない。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。

# 探究 憲法改正と国民投票

第 26 時　50 分　参照 p.49　1 班に 1 枚　下段は 28 分まで教師が保管

各自が役割を一つ担当する。役割から気付いたことを 30 秒ずつ説明し、その後に案を相談する。全員が自分のプリントに記入する。

### 視点 1

目的担当：守りたい利益を具体化する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 2

改正案担当：憲法に書く意義を説明する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 3

法律案担当：法律による改善を説明する。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

### 視点 4

手続担当：必要な情報と決定手順を見る。

説明に使う教科書の語句・事実：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

声に出す代わりに書いて伝えてもよい。個人の経験や信条を明かす必要はない。

---

### 追加カード 28 分で配布

資料の「新たに盛り込むべき権利」は 2017 年調査で複数回答、「改正の要否」は 2024 年を含む別の調査である。両者を同じ人の同時点の意見として合算できない。

この情報で、先ほどの案のどの部分を変えるか。変えない場合は、なぜ維持できるか。各自が理由を記録してから話し合う。